



平成20年5月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年3月13日

上場会社名 アスクル株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 2678 URL <http://www.askul.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 彰一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 今村 俊郎 TEL (03) 3522 - 8608

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年5月期第3四半期の連結業績 (平成19年5月21日 ~ 平成20年2月20日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年5月期第3四半期	138,891	8.5	7,124	40.1	7,173	39.3	3,831	46.3
19年5月期第3四半期	128,058	8.9	5,083	20.6	5,148	19.8	2,618	17.8
19年5月期	176,254		8,312		8,404		4,345	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年5月期第3四半期	90	24	89	99
19年5月期第3四半期	61	21	61	11
19年5月期	101	77	101	56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年5月期第3四半期	69,408	30,585	43.8	716 22
19年5月期第3四半期	58,343	25,531	43.7	600 56
19年5月期	66,987	27,291	40.6	641 28

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年5月期第3四半期	4,089	2,866	635	17,310
19年5月期第3四半期	1,770	6,003	3,068	9,936
19年5月期	6,205	7,189	3,066	16,725

2. 配当の状況

当社は、第3四半期末を基準日とした配当を行っておりません。

配当予想に関しましては、平成19年12月17日に公表いたしました平成20年5月期の予想を変更して
 おりません。

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
19年5月期	円 銭	円 銭	円 銭
20年5月期	-	16 00	16 00
20年5月期(予想)	-	20 00	20 00

3. 平成20年5月期の連結業績予想 (平成19年5月21日 ~ 平成20年5月20日) 【参考】

平成19年7月4日に公表いたしました平成20年5月期の連結業績予想を変更しておりません。

(%表示は対前期増減率)

通 期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
	193,924 10.0	9,719 16.9	9,735 15.8	4,940 13.7	116 35

4 . その他

- (1)期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無
- (2)会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】3 . その他をご参照ください。]

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当連結第3四半期(平成19年5月21日から平成20年2月20日まで)におきましては、次世代ビジネスモデルのインフラの一環として、かねてより準備を進めてまいりました新たな仙台物流センター(仙台DMC)が、平成19年8月に稼動いたしました。今後は、次世代ビジネスモデルのインフラとして効率的な稼動を進めてまいります。また、B to Cビジネスの拡大を目指した個人向けECサイト「ぼちっとアスクル」が平成19年12月にオープンし、更なる業容拡大を目指してまいります。BPO(注)事業への参入を視野に入れた「間接材一括購買システム」につきましても、計画に沿って進めてまいりました。

既存ビジネスに関しましては、インターネット広告の展開を積極的に行い、お客様開拓に取り組むと同時に、中堅・大企業向け一括電子購買システム「アスクルアリーナ」の営業活動の推進により、お客様基盤は順調に拡大してまいりました。また、アスクルカタログ2007秋・冬号、アスクル家具カタログ2007秋・冬号、アスクル メディカル&ケアカタログ2007秋・冬号を平成19年8月に発刊し、平成19年11月には医療機関向け専門カタログ アスクル メディカルプロカタログ第3号を発刊いたしました。アスクルカタログ2007秋・冬号は、世界的な地球環境保護意識の高まりの中、エコロジーの視点においても、業界をリードする企業の実現を目指し、率先して業務効率の改善と環境配慮型商品の充実に努力してまいりました。アスクル家具カタログ2007秋・冬号は、国内外から約1,600アイテムを取り揃え、オフィス作りの新しいご提案を進めるとともに環境に配慮した商品・サービスの拡充に努めてまいりました。アスクル メディカル&ケアカタログ2007秋・冬号は、新商品約1,100アイテムを追加し品揃えの拡充に努めてまいりました。アスクル メディカルプロカタログ第3号は、取扱商品数を約1,500アイテムから約3,000アイテムに大幅に拡大し、お客様のご要望に応じてまいりました。

一方、世界的な原材料価格の高騰などにより一部商品の仕入価格が上昇いたしました。コスト構造改革プロジェクト」を継続的に実施し、コスト構造の見える化を進め、コールセンター業務や物流センター業務の合理化による生産性の向上を図り、売上高販管費率は前年同期に比べて、1.4%ポイント低減しております。

以上の結果、当連結第3四半期の売上高は1,388億91百万円(前年同期比8.5%増)となりました。また、広告媒体の見直し、「コスト構造改革プロジェクト」の効果等により、販売費及び一般管理費が263億円(前年同期比0.6%増)となったことなどから、営業利益は71億24百万円(前年同期比40.1%増)、経常利益は71億73百万円(前年同期比39.3%増)、当期純利益は38億31百万円(前年同期比46.3%増)となりました。

(注) BPO: Business Process Outsourcing

企業が自社の業務プロセスの一部を外部委託すること

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当連結第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比較して24億21百万円増加し、694億8百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金および受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末と比較して13億98百万円増加し、536億92百万円となりました。また、固定資産においては、主に「間接材一括購買システム」の開発等により、その他無形固定資産が増加したこと等から、前連結会計年度末と比較して、10億22百万円増加し、157億16百万円となりました。

負債につきましては、主に、前連結会計年度末日が金融機関休業日であったため、一時的に増加していたファクタリング未払金の減少等により、前連結会計年度末と比較して8億72百万円減少し、388億22百万円となりました。また、純資産は32億94百万円増加し、305億85百万円となり、自己資本比率は43.8%となりました。

当連結第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、173億10百万円となり、前連結会計年度末と比較して、5億85百万円の増加となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果得られた資金は、40億89百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益が70億24百万円、固定資産の減価償却費およびソフトウェア償却額15億41百万円、仕入債務の増加28億25百万円等の増加要因に対し、売上債権の増加7億7百万円、ファクタリング未払金の減少44億51百万円、法人税等の支払額35億52百万円等の減少要因によるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果使用した資金は、28億66百万円となりました。これは主に「間接材一括購買システム」の開発等のソフトウェアの取得による支出20億67百万円等によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果使用した資金は、6 億35百万円となりました。主に配当金の支払 6 億79百万円等によるものであります。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
法人税等の計上は、影響額が僅少なものについて、一部簡便な手続きを用いております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
改正法人税法に定める償却方法に対応した固定資産管理システムの構築が、当連結会計年度に完了したことから、当連結会計年度開始日以降に事業供与した有形固定資産については、改正法人税法に定める償却方法により減価償却費を計上しております。なお、この変更による営業利益、経常利益および四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期末 平成19年5月期 第3四半期末		当四半期末 平成20年5月期 第3四半期末		増 減		(参考)前期末 平成19年5月期末	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
流動資産								
1 現金及び預金	9,936		17,310		7,374		16,725	
2 受取手形及び売掛金	23,192		24,842		1,650		24,153	
3 たな卸資産	8,840		9,260		419		8,826	
4 その他	2,369		2,407		37		2,629	
貸倒引当金	43		128		84		42	
流動資産合計	44,294	75.9	53,692	77.4	9,397	21.2	52,293	78.1
固定資産								
1 有形固定資産	4,861	8.3	4,927	7.1	66	1.4	4,937	7.4
2 無形固定資産								
(1) ソフトウェア	4,136		4,176		40		4,097	
(2) のれん	1,203		1,057		145		1,167	
(3) その他	1,154		2,750		1,595		1,717	
無形固定資産合計	6,495	11.2	7,984	11.5	1,489	22.9	6,982	10.4
3 投資その他の資産								
(1) その他	2,949		3,234		285		3,051	
貸倒引当金	257		431		174		277	
投資その他の資産合計	2,692	4.6	2,803	4.0	111	4.1	2,773	4.1
固定資産合計	14,048	24.1	15,716	22.6	1,667	11.9	14,693	21.9
資産合計	58,343	100.0	69,408	100.0	11,065	19.0	66,987	100.0

(単位：百万円)

期 別 科 目	前年同四半期末 平成19年5月期 第3四半期末		当四半期末 平成20年5月期 第3四半期末		増 減		(参考)前期末 平成19年5月期末	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(負債の部)		%		%		%		%
流動負債								
1 支払手形及び買掛金	20,224		22,234		2,010		19,427	
2 未払金	10,904		3,778		7,126		3,254	
3 ファクタリング未払金	-		9,275		9,275		13,726	
4 未払法人税等	387		1,691		1,303		2,007	
5 販売推進引当金	434		513		78		388	
6 返品調整引当金	33		38		4		35	
7 その他	184		564		380		180	
流動負債合計	32,168	55.1	38,095	54.9	5,926	18.4	39,021	58.3
固定負債								
1 退職給付引当金	518		634		116		547	
2 その他	125		92		32		127	
固定負債合計	643	1.1	727	1.0	83	13.0	674	1.0
負債合計	32,812	56.2	38,822	55.9	6,010	18.3	39,695	59.3
(純資産の部)								
株主資本								
1 資本金	3,503	6.0	3,527	5.1	23	0.7	3,504	5.2
2 資本剰余金	5,983	10.2	6,007	8.6	23	0.4	5,985	8.9
3 利益剰余金	18,657	32.0	23,537	33.9	4,879	26.2	20,384	30.4
4 自己株式	2,650	4.5	2,651	3.8	0	0.0	2,650	3.9
株主資本合計	25,494	43.7	30,420	43.8	4,925	19.3	27,223	40.6
評価・換算差額等								
1 繰延ヘッジ損益	1	0.0	1	0.0	2	156.6	1	0.0
2 為替換算調整勘定	-	-	2	0.0	2	-	3	0.0
評価・換算差額等合計	1	0.0	3	0.0	5	275.3	1	0.0
新株予約権	38	0.1	162	0.3	123	321.1	69	0.1
純資産合計	25,531	43.8	30,585	44.1	5,054	19.8	27,291	40.7
負債純資産合計	58,343	100.0	69,408	100.0	11,065	19.0	66,987	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書(3ヶ月累計)

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期		当第2四半期		当第3四半期	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	44,402	100.0	48,390	100.0	46,098	100.0
売上原価	33,705	75.9	36,765	76.0	34,993	75.9
売上総利益	10,697	24.1	11,625	24.0	11,105	24.1
返品調整引当金戻入額	-	-	35	0.1	-	-
返品調整引当金繰入額	-	-	38	0.1	-	-
差引 売上総利益	10,697	24.1	11,622	24.0	11,105	24.1
販売費及び一般管理費	8,145	18.4	9,708	20.0	8,445	18.3
営業利益	2,551	5.7	1,913	4.0	2,659	5.8
営業外収益	26	0.1	13	0.0	21	0.0
営業外費用	23	0.0	14	0.0	3	0.0
経常利益	2,554	5.8	1,941	4.0	2,677	5.8
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	43	0.1	101	0.2	4	0.0
税金等調整前四半期純利益	2,510	5.7	1,839	3.8	2,673	5.8
法人税、住民税及び事業税	1,021	2.3	913	1.9	1,257	2.7
四半期純利益	1,489	3.4	926	1.9	1,416	3.1

(注)「累計差額方式」により作成しております。

(3) (要約) 四半期連結損益計算書(9ヶ月累計)

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期 平成19年5月期 第3四半期		当四半期 平成20年5月期 第3四半期		増 減		(参考)前期 平成19年5月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
		%		%		%		%
売上高	128,058	100.0	138,891	100.0	10,833	8.5	176,254	100.0
売上原価	96,822	75.6	105,464	75.9	8,642	8.9	132,986	75.5
売上総利益	31,236	24.4	33,427	24.1	2,191	7.0	43,268	24.5
返品調整引当金戻入額	32	0.0	35	0.0	3	10.4	32	0.0
返品調整引当金繰入額	33	0.0	38	0.0	4	12.9	35	0.0
差引 売上総利益	31,234	24.4	33,424	24.1	2,190	7.0	43,265	24.5
販売費及び一般管理費	26,150	20.4	26,300	19.0	149	0.6	34,952	19.8
営業利益	5,083	4.0	7,124	5.1	2,040	40.1	8,312	4.7
営業外収益	107	0.0	60	0.1	47	43.7	140	0.1
営業外費用	43	0.0	12	0.0	31	71.8	48	0.0
経常利益	5,148	4.0	7,173	5.2	2,025	39.3	8,404	4.8
特別利益	41	0.0	-	-	41	100.0	1	0.0
特別損失	243	0.1	148	0.1	94	38.8	331	0.2
税金等調整前四半期 (当期)純利益	4,946	3.9	7,024	5.1	2,078	42.0	8,074	4.6
法人税、住民税 及び事業税	2,327	1.9	3,192	2.3	865	37.2	3,728	2.1
四半期(当期)純利益	2,618	2.0	3,831	2.8	1,212	46.3	4,345	2.5

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前年同四半期 平成19年5月期 第3四半期	当四半期 平成20年5月期 第3四半期	(参考)前期 平成19年5月期
		金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		4,946	7,024	8,074
減価償却費		425	500	601
ソフトウェア償却額		934	1,040	1,269
長期前払費用償却額		124	103	162
のれん償却額		109	109	145
株式報酬費用		38	92	69
貸倒引当金の増減額		74	239	55
販売推進引当金の増減額		191	124	237
返品調整引当金の増加額		1	2	3
退職給付引当金の増加額		82	87	111
受取利息		2	21	4
支払利息		0	-	0
減損損失		118	42	179
投資有価証券評価損		-	7	-
固定資産除却損		0	68	27
固定資産売却損		6	2	6
売上債権の増加額		1,084	707	2,162
たな卸資産の増加額		944	433	930
未収入金の増減額		30	211	203
仕入債務の増加額		1,091	2,825	274
未払金の増減額		3,475	408	45
ファクタリング未払金の増減額		-	4,451	2,630
未払消費税等の増減額		223	282	128
その他		49	58	55
小計		1,962	7,620	9,934
利息の受取額		2	21	4
利息の支払額		0	-	0
法人税等の支払額		3,735	3,552	3,734
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,770	4,089	6,205
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出		2,690	599	3,018
ソフトウェアの取得による支出		2,477	2,067	3,390
長期前払費用の取得による支出		250	115	280
差入保証金の支払による支出		589	114	603
差入保証金の返金による収入		4	30	102
その他		1	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー		6,003	2,866	7,189
財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式の発行による収入		61	44	63
自己株式の取得による支出		2,650	0	2,650
配当金の支払額		479	679	479
財務活動によるキャッシュ・フロー		3,068	635	3,066
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	1	2
現金及び現金同等物の増減額		10,842	585	4,053
現金及び現金同等物の期首残高		20,779	16,725	20,779
現金及び現金同等物の期末残高		9,936	17,310	16,725

5. その他の情報

(1)品目別売上高、粗利率（連結）

（単位：百万円）

品 目 名	前年同四半期 平成19年5月期 第3四半期		当四半期 平成20年5月期 第3四半期			（参考）前期 平成19年5月期	
	売上高	粗利率	売上高	粗利率	前年同期比	売上高	粗利率
		%		%	%		%
OA・PC用品	56,385	20.4	60,533	19.7	107.4	76,211	20.5
事務用品	30,127	27.5	32,523	27.0	108.0	41,900	27.5
オフィス生活用品	21,682	29.2	24,382	29.1	112.5	29,340	29.4
オフィス家具	14,302	26.5	14,861	27.3	103.9	21,190	26.9
その他	5,559	23.4	6,590	23.7	118.5	7,611	23.8
合 計	128,058	24.4	138,891	24.1	108.5	176,254	24.5

（注）1.粗利率の算出は、予定原価による粗利金額をベースとしております。

2.当連結会計年度より、当社の品目別売上等分析において、商品が属する品目区分を一部変更したことから、上記資料も変更後の品目区分にて記載しております。なお、比較を容易にするため、前年同四半期および前期についても、変更後の品目区分に組替えて記載しております。

各品目区分に含まれる商品群は、次のとおりであります。

OA・PC用品

OAサプライ、OA用紙、ビジネスマシン、メディア、PC用品、電化消耗品、オフィス備品、オフィス電化製品等

事務用品

ファイル、ノート、紙製品、筆記用具、文具・事務用品、オフィス作業用品等

オフィス生活用品

飲料、食品、飲料雑貨、生活雑貨、健康管理用品、ユニフォーム等

オフィス家具

オフィス家具、インテリア等

その他

プリント・オン・デマンド、メディカル&ケア、メディカルプロ（専門商品）、値引き等

当連結会計年度から、品目区分変更を行なった主な商品は、次のとおりであります。

商品名	変更前	変更後
オフィス電化製品	オフィス家具	OA・PC用品
書籍、雑誌、ソフトウェア	その他	OA・PC用品

(2)販売費及び一般管理費の明細(連結)

(単位:百万円)

科 目 名	前年同四半期 平成19年5月期 第3四半期		当四半期 平成20年5月期 第3四半期			(参考)前期 平成19年5月期	
	金額	売上比	金額	売上比	前年同期比	金額	売上比
人 件 費	2,609	2.0	2,927	2.1	12.2	3,505	2.0
配 送 運 賃	5,084	4.0	4,940	3.6	2.8	6,772	3.8
販売推進引当金繰入額	210	0.2	513	0.4	143.8	314	0.2
業 務 外 注 費	2,268	1.8	2,527	1.8	11.5	3,023	1.7
業 務 委 託 費	6,649	5.2	6,269	4.5	5.7	8,942	5.1
地 代 家 賃	3,200	2.5	3,241	2.3	1.3	4,226	2.4
貸倒引当金繰入額	0	0.0	270	0.2	-	14	0.0
減 価 償 却 費	418	0.3	498	0.4	19.0	591	0.3
ソフトウェア償却費	934	0.7	1,040	0.7	11.5	1,269	0.7
そ の 他 諸 経 費	4,774	3.7	4,071	3.0	14.7	6,292	3.6
販 管 費 合 計	26,150	20.4	26,300	19.0	0.6	34,952	19.8

(3)表示方法の変更

(要約)四半期連結貸借対照表関係

前連結第3四半期末において、流動負債の「未払金」に含めていた「ファクタリング未払金」は、当連結第3四半期末において、重要性が増したため区分掲記しております。なお、前連結第3四半期末の「未払金」に含まれる「ファクタリング未払金」は7,560百万円であります。

(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係

前連結第3四半期において、「営業活動のキャッシュ・フロー」の「未払金の増減額」に含めていた「ファクタリング未払金の増減額」は、当連結第3四半期において、連結貸借対照表における「ファクタリング未払金」の表示方法を変更したことに伴い区分掲記しております。なお、前連結第3四半期の「未払金の増減額」に含まれる「ファクタリング未払金の増減額」は3,535百万円であります。